

→ ふうおかのれきし絵本完成！

NPO法人福岡テンジン大学
とともに製作した、福岡の歴史

を子どもたちにわかりやすく紹介す

る絵本「のったよ！ ふうおかタイムスリッ
プ号」が完成しました。小学1年生の

テツヤくんが地下鉄に乗ると…いつの

間にかタイムスリップ。電車型のタイム

マシン「フク」と、福岡の歴史をたどる時間旅行

にでかけるという物語です。

みなさんは、福岡の人々が2,000年以上も
前から海外と交流していたことをご存知ですか？

この絵本は「福岡は昔からたくさんの人びととのつ
ながりによって磨かれてきた素敵なまちであることを、

子どもに伝えたい」という1人のお母さんの思
いから生まれました。

完成した絵本は、市内の小中学校、留守家
庭子ども会や市立図書館、公民館などで、

4月末からご覧いただけます。また、福岡

市博物館ミュージアムショップにてご購入

いただけます（部数限定・価格1,500

円・税込）。みなさんがよくご存

じのエピソードや、新たな発見も

あるかもしれません。お子さん

やお孫さんと一緒に、タイ

ムスリップしてみませ

んか。



絵本の表紙



絵本のチラシ

→ 4月・5月のイベント情報

4月

15日 吉武高木遺跡「やよいの風公園」 オープニング式典
(10:00~14:00 少雨決行)

5月

13日 シンポジウム「中世博多歴史放談」
(13:15~ 福岡市博物館 先着順)

14日 赤煉瓦文化館ガイドツアー (①9:45 ②11:00)
国の重要文化財「赤煉瓦文化館」の見どころや普段立ち
入ることのできない塔屋を案内。はがきFAX・Eメールで
参加者全員の氏名・年齢、代表者の住所・電話番号、
希望時間帯を記入して申込。5月2日必着。抽選。

20日 発見100年記念特別展プレイベント講演会
「よみがえる鴻臚館時代の『食』」
(14:00~16:00 福岡市博物館 先着順)
講師：前川佳代氏（奈良女子大学古代学学術研究
センター協力研究員）
古代の迎賓館であった鴻臚館でのおもてなし食はどのよう
なものであったのでしょうか。古代の食文化を再現する研
究の最前線を紹介しします。

福岡市経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神1-8-1
TEL：092-711-4666 FAX：092-733-5537

文化財の調査・指定・活用・管理に関すること	文化財保護課	TEL:092-711-4666
史跡の整備・活用に関すること	史跡整備活用課	TEL:092-711-4784
埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること	埋蔵文化財課	TEL:092-711-4667
埋蔵文化財センターに関すること	埋蔵文化財センター	TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財
<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



歴史の風 ふくおか文化財だより

Vol.8 2017年4月号

よししたけたかぎいせき
吉武高木遺跡「やよいの風公園」
4月15日(土)グランドオープン！



実物大の甕棺模型

国史跡吉武高木遺跡「やよい
の風公園」(西区大字吉武)が
いよいよ開園します。

同遺跡は、今から2,200~
2,000年前の甕棺墓や木棺
墓、大型建物の跡などが発見さ

れた弥生時代の貴重な遺跡です。特に「三種の神器」をイ
メージさせる鏡・玉・剣を副葬した墓は「最古の王墓」と呼ば
れ、当時の社会を考える上で大変重要です。

飯盛山を望む広大な園内には、同遺跡の歴史や価値を、
直接「見て、触れて、楽しく学べる」

ように当時の地形や植生を再現
し、甕棺や出土品の実物大のレプリ
カなどを屋外展示しています。子ども
から大人まで楽しめる「やよいの風
公園」にぜひお越しください。



説明板のレプリカに触れるこ
ともできます

オープニング式典 4月15日(土) 10:00~14:00 少雨
決行。地域の方々による音楽劇の上演や専門職員による展
示解説、まが玉づくり体験などのイベントを開催。

「吉武高木遺跡」ホームページを開設 遺跡

の解説や園内マップ、交通アクセスを紹介。





—平成29年度は中世博多がアツい！—

→博多遺跡群出土資料が 国の重要文化財指定へ

博多遺跡群は、現在の大博通りをその中心軸とし、およそ120万㎡の範囲に広がる遺跡です。200回を超える発掘調査の結果、中世を通じて日本随一の国際貿易都市であり続けた博多の姿が明らかになっています。

この貿易都市博多を象徴する輸入陶磁器をはじめとする多くの資料が、その歴史的価値を認められ、国の重要文化財に指定される見通しになりました。



重要文化財指定候補の一部

→記念シンポジウムと公開講座を開催

シンポジウムは「中世博多歴史放談」と題して、中世の博多に深い造詣を持つ研究者を招き、それぞれの研究をもとに自由に討論してもらいます。5月13日(土)13時15分から福岡市博物館1階講堂にて、定員は先着240名です。

公開講座では中世の博多を主題として、月替わりで各方面の先生を招いて講演してもらいます。第1回のテーマは「博多誕生」。6月10日(土)13時30分から、埋蔵文化財センターで開催します。同センターでは、今年度の公開講座にあわせて重要文化財指定候補となった資料などを

展示する企画展を開催しております。ぜひ

お立ち寄りください。



→博多鋏の製作技術

福岡市の伝統工芸である「博多鋏の製作技術」が1月27日の国の文化審議会において、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択されることになりました。



博多鋏 (博多伝統職の会提供)

博多鋏は中国・南宋から中世博多に伝えられたものがルーツとされています。幕末に鍛冶屋の安河内宇助が現在に近い形に仕上げ、宇助の弟子だった高柳亀吉が商標登録「宇印」を継ぎ、明治25年には正式に博多鋏という名称となります。

刃に鋼を付ける技術が特徴で、刀鍛冶の技術との関わりもうかがえます。現在は高柳家3代目の高柳 晴一氏 (博多鋏製作技術保存会 会長) が唯一、製作を行っています。

しかさんの用語解説コーナー

「記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」とは

文化庁では、重要文化財以外の無形の民俗文化財のうち特に必要があるものを、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択し、その保護を図っています。特に変容・衰退の恐れが高いものについて、計画的に映像・報告書による記録化を進め、確実な記録保存を図っています。



しかさん
(埋蔵文化財センター
キャラクター)

→今年は鴻臚館発見100年 & 発掘30年！ ～ イベント多数企画中 ～

中山平次郎博士が福岡城内で鴻臚館の瓦を発見してから、およそ100年がたちました。また平和台球場外野スタンドから鴻臚館の遺構が発掘されたのがちょうど30年前にあたります。この記念すべき年に、市文化財部では鴻臚館にまつわるイベントを多数企画しています。



9月開催の特別展予告

3月末から4月上旬にかけ開催した「福岡城さくらまつり」では、最新の発掘成果を盛り込んだパネル展示「鴻臚館跡発掘とその成果」、NPOとの共働事業で制作した「鴻臚館復元イラスト映像」、夜間開館時に美しく光った「建物柱表示」の3つの特別企画を実施しました。パネルと映像については好評につき、さくらまつり終了後も引き続き同展示館で展示しています。

また9月には福岡市博物館で、発見100年記念特別展「よみがえれ！鴻臚館 - 行き交う人々と唐物 -」が開催されます。5月20日にはそのプレイベント講演会（詳細は別頁）が行われます。メモリアルイヤーである2017年はぜひ鴻臚館にご注目ください。



当時の柱を赤い明りで表示(現在は終了)